

Rotary



稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和38年（1963年）12月6日 会長：小島洋一／副会長：眞下啓二
 例会日：毎週水曜日 12：30～13：30 幹事：高桑宏幸／編集：広報会報委員会
 例会場：尾張大國霊神社（国府宮） E-mail rcinazawa@gmail.com
 稲沢市国府宮一丁目1番1号 URL <http://www.inazawa-rc.org/>
 事務所：〒492-8213 稲沢市高御堂1-2-1（林商事ビル1階）
 電話：0587-24-0740 FAX：0587-89-0265 事務局携帯電話 090-4853-5262



2018-19 R I 会長
ハリ・ラジ 氏



インスピレーションになるう

稲沢 RC2018-19 年度会長方針
「ともに前へ」
0-列-を考え、楽しく実践しよう

本日の例会プログラム 第2698回例会 6月5日（水）
例会場：尾張大國霊神社 幸福例会 会員表彰
第12回理事会
IAC 例会（17：00）

第2697回例会報告 5月29日（水）晴 No.43

☆点 鐘 ☆	会長 小島洋一
☆司 会 ☆	会場委員長 山本敏裕
☆唱 和 ☆	四つのテスト
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長 小島洋一



皆さん、こんにちは。先週末の春の家族会では加藤委員長はじめ親睦活動委員会の皆様に大変お世話になりました。お陰様で天候にも恵まれて初夏のような陽気の中、賢島の美しい自然と美味しい料理を堪能させていただきました。参加をいただきましたメンバー及びご家族の皆様、本当にありがとうございました。

さて、本日はクラブアッセンブリーとしてインターアクトクラブの年次大会について現状の報告と協力の依頼があります。IACの年次大会は毎年海の日に開催をされており、今年は7月15日（月）に名古屋文理大学文化フォーラムの大ホールをメインの会場として開催をいたします。愛知啓成高校 IAC と稲沢 RC が主管をするということで、事業としては次年度の事業になるわけですが、準備は今年度の実行委員会で進めていただいております。当日は例会日を変更してこの事業が例会として扱われるとのこととあります。それぞれの皆さんがしっかりと内容等を確認していただき、愛知啓成高校

IACのメンバーたちにいい成功体験を積んでもらえるよう力を合わせていきたいと思っておりますので、よろしくご協力の程お願いいたします。以上で本日の会長挨拶とさせていただきます。

～Today's Information～ ◆◆ 報告事項 ◆◆ ◇◇ 幹事報告 ◇◇ 幹事：高桑宏幸

◆春の家族会の登録料は、6月10日預託金から引き落としさせていただきます。決算月の為、残高のご確認をお願い致します。

◆財団ニュースをテーブルごとに回覧しています。

◆ガバナーより

毎年6月20日は国連が定めた「世界難民の日（World Refugee Day）」です。緒方貞子様が1990年代に率いた国連機関であるUNHCRにとっては特別な記念日であり、日本における公式支援窓口である国連UNHCR協会から各地のモニュメントに働きかけ、初めて、全国で15か所が国連カーの「ブルー」に灯されることになりました。当地区では、国営木曾三川公園内のツインーチ138がブルーになります。点灯日時2019年6月20日（木）～22日（土）3日間 日没～21時30分

★出席報告★報告者：幹事 高桑宏幸

会員総数	48名	前々回修正	5月15日
出席 会員数	36名 (内免除者11名)	出席 会員数	29名 (内免除7名)
欠席者数	12名 (内免除者2名)	マークアップ数	8名
出席率	78.26%	修正出席率	88.10%

☆分区内例会臨時変更通知☆

クラブ名	月/日（曜日）時間	マークアップ会場

今週のマークアップ 浅井耕治・三根健一・栗本貢・鈴木雅博・新井仁志 (B.D) 金森貴史・林茂一 (C.O.M) 鶴飼正巳 (D2760)

☆ 例会日程 ☆

6月12日（水）	6月15日（土）18：00	6月19日（水）12：30	6月26日（水）
例会日変更（15日～振替） IAC 例会（17：00）	I. D. M 川由 準備理事委員長会議（17：00）	クラブ・アッセンブリー 役員退任挨拶	休会（定款8-1）

◇ ◇ 会 員 組 織 委 員 会 報 告 ◇ ◇

報告者：会員組織委員長 服部孝徳

○100%出席表彰者（4月末調べ）

樋田文裕 13年 足立三千夫 11年6ヶ月
山脇敏夫 7年6ヶ月 三根健一 5年
眞下啓二 3年 大宮隆志 2年

○在籍表彰 西村郁夫 27年

◇ ◇ 親 睦 活 動 委 員 会 報 告 ◇ ◇

報告者：親睦活動委員長 加藤太平

○会員夫人誕生日

服部孝徳 夫人 詠美 様 17日

○結婚記念日 足立三千夫 2日

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇

報告者：ニコボックス委員長 新井仁志

前月ニコボックス（くじ・花含む）	114,000
2018-19年度 累計	1,456,000

小島 春の家族会参加の皆様ありがとうございました。加藤委員長はじめ親睦活動委員会の皆様お世話になりました。

高桑 家族会無事終わりました。加藤委員長お疲れ様でした。ありがとうございました。

加藤(太) 皆様のおかげをもちまして春の家族会を無事に終えることができました。ありがとうございました。

林(茂夫) 家族会皆さんにお世話になりました。

西村 春の家族会、伊勢志摩サミット記念ランチ大変おおいしく頂きました。皆様ありがとうございます。

鵜飼(博) 家族会お世話になりましたありがとうございます。

橋本 ロータリーの友に俳句が載りました。

西村 林茂夫さん☆夢のホールインワンおめでとうございます。

吉川 渡邊さん、大変お世話になりました。ありがとうございます。

林(茂一) 豪雨の前に無事屋久島より帰還しました。心配の連絡をいただいた皆様ありがとうございました。

小島・高桑・林(茂夫)・西村・樋田・栗本・永井
春の家族会の写真を頂いて

渡邊 写真を頂いて。バスには酔いませんでした。しっかりランチいただきました。

児島 家族会欠席して申し訳ありません。思わぬ所でお会いしましたが家族と一緒にだったので良かったです。

伊藤(強平)・浅井・足立・林(茂一)・新井 例会欠席のお詫び

山脇・大宮 業務多忙 早退のお詫び

◇ ◇ ク ラ ブ ・ ア ッ セ ン ブ リ ー ◇ ◇

報告者：IAC年次大会実行委員会

インターアクトクラブ年次大会

大会テーマ 『Look at the World』

◇ 開催日 2019年7月15日（月・祝） 海の日

◇ 会 場 名古屋文理大学文化フォーラム

主 催 国際ロータリー2760 地区ガバナー

主 管 国際ロータリー2760 地区インターアクト委員会

ホスト IAC 愛知啓成高等学校インターアクトクラブ

提唱 RC 稲沢ロータリークラブ

メンバー皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

【受 付】

ご来賓受付、地区役員受付、各校 IAC 受付、OBOG 受付、RC 受付

【来賓接待】

受付後、開会式までの間レストラン宝竹でお待ちいただけます。

（稲沢市長、稲沢市教育長、愛知啓成校長、地区役員）

【昼食（御弁当とお茶）の会場配布】

約700食のお弁当とお茶が小ホールへ届きます。事前に割り振った昼食会場へ仕分け搬入をします。

【昼食会場でのご案内】

来場者への御弁当配布、ゴミの回収、回収したゴミの集積

◇◇第2回地区内クラブ社会奉仕委員長会議報告◇◇

報告者：社会奉仕副委員長 入山太郎

日 時：2019年5月24日（金）15:00～17:00

会 場：名鉄グランドホテル 11階柏の間

会議は、村井總一郎ガバナーの挨拶から始まった。特に「社会奉仕活動は規模の大小が心の大小へ比例するものではない。小さくても『インスピレーションになろう』をモットーに活動を単年度ではなく次年度でも実施する。そうすることで、奉仕の心が継続しつつ、クラブの社会奉仕活動へとつながる。」という言葉であった。

本年度行われた社会奉仕活動を「一般活動」「環境保全活動」「RCC活動」の3つに分け、それぞれ代表的な活動を行ったクラブを称え、一般活動は瀬戸ロータリークラブ、環境保全活動は名古屋名駅ロータリークラブ、RCC活動は名古屋守山ロータリークラブからそれぞれ発表が行われた。

瀬戸ロータリークラブは、「防災体験型イベント“せと、そなえるフェスタ”」として開催し、担当副委員長からはクラブ中で最も素晴らしいと紹介された。関係団体等は、瀬戸市（危機管理課）、瀬戸警察署、消防署、自衛隊、一般人等で、当日は計388名が参加した。名古屋名駅ロータリークラブの活動は、2016年から継続している「中川運河キャナルアートコスモスプロジェクト支援事業」である。花のある憩いの水辺空間づくりや、公園への種まきや美化活動を中心に行った。昨年のWFFでは、コスモスの種袋を配布するため千袋を用意し、当初必要と考えていた配布時間は予想に反し、5分程度で終了した。

同クラブは活動の評価もしっかりと行っており、環境保全活動は、中川運河の活性化に有益か、適正か、また、地域住民が主体的に活動するための起爆剤となるか等、今後の課題も認識していた。

名古屋守山ロータリークラブは、守山区ボランティア連絡協議会（17団体、約1千名）としてRCC活動を行っており、活動内容や活動目的の違う団体が混在する中、十分にその役割を果たしている印象であった。活動内容が異なる団体だからこそ、多種多様な課題をもった個人からの相談に応じるために、高密度の連携が必要との認識であった。

報告後、長瀬輝代之ガバナー補佐から挨拶が行われ、本会議は閉会した。